

かがやく渋谷

渋谷区議会自由民主党議員団

子どもたちの輝ける未来のために、実現します

自民党議員団は全力で取り組みます

「未来の学校」づくりにより自民党が提言

「渋谷区新しい学校づくり整備方針」

が発表されました!!

令和四年五月、区及び教育委員会は、「渋谷区新しい学校づくり整備方針」学校施設の未来像と建て替えロードマップ」を公表しました。今後整備する学校の未来像を提示するとともに、学校施設の老朽化に伴い二十二年間で二十二校を建て替え、かつその過程で新たな小中一貫教育校を三校設置していくロードマップをまとめました。

建て替えについては区立全小中学校を網羅し、当初三十年といわれたスケジュールを二十二年に収め、かつ十年後には、その時の経済状況や人口動態を計画に適切に反映していく方針が示されました。長期間に及ぶ建替えにあたり、仮設校舎の整備を計画通りに進めることと、期間中の通学路変更に伴う児童生徒の安全確保を徹底することを要望しました。

小中一貫教育校について
は、今後、千駄ヶ谷小と原宿外苑中、猿樂小と鉢山中、笹塚小と笹塚中、をそれぞれ統合して三



つの一貫校を新たに設置する方針が示されました。現在唯一の区内小中一貫教育校で、創立十周年を迎える渋谷本町学園の実績を検証した上で進めるべきと提言しました。

今般の整備方針では、「新たな学びの場」「コミュニティの拠点」「環境への配慮」の三つを柱としています。今後、学校施設が「学校」と「地域」の連携・協働拠点としての役割を担うよう、公共施設との複合化を含めて教室や体育館、プールなどを、地域に開放することが示されました。老朽化した渋谷図書館が広尾中学校の建て替え時に複合化される予定であることはこの一例です。複合化については、区が地域の皆様に丁寧な説明して理解を求めるとともに、整備後は、子供たちと地域住民との動線の区分や防犯対策等のセキュリティを確保するべきと提言しました。



区有施設の更なる有効活用へ

施設予約の新システムが

本年度より稼働

渋谷区が有する地域交流センターやスポーツ施設、社会教育館等の各施設については、これまでも地域の皆さまを中心に活用されてきました。しかし、施設の種類ごとに団体登録の区分が異なり、登録手続きが別途必要で、予約システムも使いにくいという課題から稼働率も十分でない現状がありました。そこで区有施設をより多くの区民が利用できるよう、これまでの施設予約システムを本年度中に一新するとともに、団体登録のフォームを統一し、一度の登録で各施設を横断的に利用できるような整備を行います。

利用者範囲の拡大に伴い、既存の各種団体利用が妨げられることのないよう、引き続き優先枠を確保した上で、空きがあればその他の区内外の団体や、利用日直前の個人利用が可能となります。現在構築中の新システムについては、見やすさや使いやすさを改善すること、およびオンラインでの団体登録を可能とすることを自民党として提言しました。

